

消費・増税の画策

消費税の増税ではありません。消費に増税です。消費に対して増税をすると、国内総生産や消費はどうなるかはすでに実証済です。デフレスパイラルのブラックホールが子供にでも分かるはず。どさくさに法案は相続増税もセットです。昨今の増税は戦時下と変

わりません。消費に増税は確実に自民党時代を超える大シャッター街が創出されます。後は戦争への道です。米国・白人に骨抜きにされた平成時代に昭和の高橋是清はいない。

財務省（米の傀儡）の意向？、景気回復よりNHKを始めとしたマスゴミを総動員してより一層、日本国民大衆からの収奪を画策しています。アメリカの国債（紙くず）を買わされるため、貢ぐためにです。

野田総理の一丁目一番地が財務省の消費に増税です。野田総理は本当に腐り果たように見えます。どこまで、民をいじめ搾取するつもりなのでしょう。

未曾有の国家的危機に、すべき事を何も行わず、消費に増税で、民が騙され怒らないのをいいことに、松下政経塾上がり国民を舐めきって、ヤレるところまで

やり尽くすつもりなのでしょう。売国奴？という言葉があります。でかい顔に見習う人がいないのを実感。顔を見るたび実に気分が悪くなるこの頃です。



国は借金返済の義務無し

自民党を含めた歴代政府は国民の税金を使い込み、膨大な借金を積み上げました。そして国民に借金付け回しの請求書です。国債を買っている人は、税金が高くなれば、間接的に元本割れしている事に早く気が付かなければ、手遅れになります。一番多く買っているのが、財務省傘下の国民の金を預かっている銀行です。個人の投資信託も世界の

前提条件はすでに変化しています。すべては従前の仮定の上に存在しています。自民も民主も私たちのクレジットカードで、箱物や、天下りのお手当、電力会社の株、役人のキャバクラ代に払っていたのです。基軸通貨でない円は紙くずに等しい。個人はマスコミ、評論家の意見に一切惑わされない事です。視界に大恐慌の取り付け騒ぎを想定です。そしてデノミの自主防衛を考えなくてはならない。

日本人と中国人では西洋人への態度に雲泥の差があるという。イザベラ・バード日本奥地紀行から。「日本人の丁寧さは、殆ど態度と口の利き方においてへつらいですが、中国人は、自立心が強く、殆ど人を見下すと言っているようです」

土の文化

「中国人の自惚れがひどいので、その無知さ加減は耐え難い」

いまでも無人販売が農村でよく見られますが、中国や外国では驚愕なことです。

安心安全、「思いやり」の文化が

生きていくのです。

日本の常識は世界の非常識と言われます。一例ですが都会のエスカレーターで、片側を空ける思いやりの慣習や、混んできると、己の非を守ろうとはせず、自分に罪がないと思う時にのみ理由を説明するの慣習だからである。

織田信長に会った宣教師フロイスが書いている「日本史」に、日本人が言い訳をするときに、そこに真実が込められている。彼等が理由を述べている時には、

その言葉を遮らずに、忍耐強くそれを聞かなければならない。特にその理由は、彼等は罪がある時には、直ちにこれを告白して、己の非を守ろうとはせず、

裁判において誹謗中傷に凄まじいものがあります。八月の判決を別にし、相手の誹謗を白日に明らかにしたいと思うのです。



(有)西川経営オフィスサービス
中村会計 事務所便り
2012年6月11日 (月) NO. 254
地域から明るい未来を作ろう